

平成30年度 第4回温海地域振興懇談会 会議概要

○日 時 平成31年2月20日(水) 午後1時30分～午後3時56分

○会 場 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

○次 第 1. 開 会  
2. あいさつ  
3. 報 告  
鶴岡市第2次総合計画の概要について 資料No.1、2  
4. 協 議  
(1) 温海地域振興計画(案)について 資料No.3  
(2) 温海地域まちづくり未来事業計画(案)について  
資料No.4、5  
(3) その他  
5. 閉 会

○公開・非公開の別 公開

○傍聴人の人数 なし

**【温海地域振興計画(案) 及び温海地域まちづくり未来事業計画(案)について】**

**A委員**

- ・計画に盛り込んだ28事業をしっかりと実施できれば相当の効果が期待できると評価している。
- ・鶴岡市には、由良温泉を含め4つ温泉がある。温泉を「優れた観光資源」として活用し、(ダイジェスト版では) それをもっと前面に出すべきと感じた。
- ・温海温泉自治会にとっては街灯電気料や共同浴場維持費、各種負担金等の固定経費が財政を圧迫している。その状況下で、未来事業として「有線放送対策」「水銀灯対策」が盛り込まれるのはありがたい。

**市**

- ・ダイジェスト版という大きな枠の中での記載ということでご理解願いたいし、商工観光分野においては温泉振興にも触れているのでご了解願いたい。

- ・自治会の関係については、平成 31 年度から総合交付金の見直しを予定している。具体的には、「敬老会事業費補助」「衛生業務」「自主防災」を合せて「地域づくり加算」として計上する予定であり、割合的には増額となる。また LED 防犯灯等については単価アップを見込んでいるが、詳細については、各自治会に後日通知したい。

#### A 委員

- ・防犯灯については、総合交付金充当後もなお自治会負担が相当あるので、今回の見直しの効果に期待したい。

(会長)

- ・防犯灯（水銀灯）の見直しは、補助率の変更ということか。

#### 市

- ・水銀灯か蛍光灯かではなく、ワット数で単価が決まるということ。

(会長)

- ・本日欠席委員からの意見紹介をお願いします。

#### 市

意見書を紹介

- ・鼠ヶ関自治会に「高速道路・道の駅」検討会議を組織し、地域振興に向け様々な角度から検討を開始したいこと。
  - ・移住者紹介、旅行者紹介に対するふるさと商品贈呈の提案。ふるさとへの企業進出に対する金銭的支援の提案。
  - ・「五十嵐」に関するシンポ等の開催の提案。
  - ・神社仏閣を観光資源に活用するための神職住職との連携の提案。
- 以上紹介し、計画のローリングの際に関係課も含めて参考にする旨報告。

#### B 委員

- ・温泉街フラワー整備事業についての予算化の見通しをうかがう。

#### 市

- ・平成 31 年度は「みどり環境税」の活用を予定しており、2020 年度からまちづくり未来事業での予算化を想定している。

#### B 委員

- ・もう一点、日沿道の工事が進んでいると思う。新「道の駅」については全面開通に併せて施設開業というスケジュールが予想されるが、計画的にもそういうことか。

市

- ・日沿道が開通しない中で新「道の駅」を開業することは出来なくはないが、その場合は営業的には厳しくなると思われる。市として開業までのスケジュールを設定しつつ準備を進めたい。

C委員

- ・新年度も地域振興懇談会を予定していると思うが、温海温泉自治会長を委員に加えて欲しい。委員の選考方法等があるのであれば教えていただきたい。

市

- ・懇談会の設置要綱では、委員選考の明確な基準はない。地域の中で十分に意見を頂戴しながら地域活性化や重要施策等に活かすための会であるので、地域毎に、地域にとってより良い形で選考していただければと考える。

D委員

- ・産地交付金の実績が年々縮小していると感じる。農協と連携し、地域に合った推奨作物を重点的に支援していくスタイルをお願いしたい。中山間地域については平野部とは違った作物を振興していく姿勢が必要になると思う。
- ・「焼畑あつみかぶ」と「越沢三角そば」は基本的な振興方針をしっかりと持ってほしい。
- ・なめこ菌の助成制度が朝日地域のみという制度だということ知った。以前は温海地域にもあった制度であるが利用者がいないという理由で現在は予算化されていないということ。需要はあると思うので、制度PRを工夫してほしい。現に、教育旅行受入にあたり、なめこの植菌を組み入れたいと考えている。特徴ある作物を作って産直につなげていくための仕掛けを構築すべき。

市

- ・産地交付金については鶴岡市農業振興協議会で最終決定を行うが、その前段の温海地域農業振興会議で様々なご意見を頂戴し、本所に報告しつつ鶴岡全体の方針を決定する流れ。
- ・JA 鶴岡と JA 庄内たがわの推奨品目を中心に各地域の特徴を活かして山菜等

を設定しており、温海地域の場合はミョウガやアスパラ等を交付金の対象としている。

- ・年々転作の面積が拡大する中で国から交付される金額が決まっているため単価が下がってしまう傾向にある。
- ・大豆等は大規模で作付していれば当然金額的には大きくなり、山菜等は面積が少ないため大した額にならないということはおっしゃるとおり。ただ大豆についても大規模加算の圧縮など様々対策を講じており、特定の作物だけ支援していることはないということをご理解いただきたい。
- ・引き続き、産地交付金に関する温海地域の意見を市全体に伝えていきたい。
- ・特用林産の関係については、温海地域でも需要があるとなれば、来年度以降本所の林務担当と相談しながら検討していきたい。

#### B委員

- ・朝市広場環境整備事業について、空き店舗を活用し屋根付きの足湯を整備してはどうか。朝市広場内には源泉もあるし困難ではないと思うがどうか。
- ・朝市を訪れた方が足湯につかりながら楽しんだり、「ひるいち」に来た方が足湯に浸かりながら飲食を楽しんだりというものがあってもいいと思う。

#### 市

- ・来年度は予算を計上していないが、資料3の7ページ「③魅力ある温泉観光地に向けた中長期戦略の検討」の中において、朝市広場の活用手法についても検討したい。
- ・現段階の考え方としては、源泉を活用した足湯や岩盤浴等の整備や、新規出店を見据えた店舗設備の整備を検討していきたいと考えている。

#### E委員

- ・庄内四温泉が全て鶴岡市にあるのは「強み」である。そこで、開湯1200年の根拠を今一度確認したい。
- ・「あつみ食べ物自慢フェス」のイベントイメージを教えてほしい。
- ・イベントに力を入れがちだが、イベントはマンパワーも必要で大変な労力を要する。通常（日常）営業にも目を向けてほしい。例えば「浴衣プロジェクト」などの日常に対する支援もお願いしたいと思う。
- ・鼠ヶ関のはなさき路関連で、「恋する灯台」の案内表示の整備が必要だと感じる。

#### C委員

- ・諸説あるが、『西暦 821 年に弘法大師がこちらに宿泊されたときに夢枕に童子が現れて「山の方に湯けむりが出ている」ということで発見した』という説があり、2021 年でちょうど 1200 年になる。

## 市

- ・諸説あり、どれが正しいのかは不明である。2022 年が酒井公入部 400 年で、その前年であればインパクトがあるのではないかとということで 2021 年に設定した経過であり、あつみ温泉でイベントを開催して集客を図るということが一番の狙い。
- ・「あつみ食べ物自慢フェス」については、鶴岡市が食文化創造都市になっており「温海の食の強みを活かしたイベントの開催」という程度で具体的な内容はまだ決まっていないが、特色あるイベントを通じて温海地域の食の PR をしていきたい。
- ・「恋する灯台」については明確な案内表示がないため、のぼり旗だけでなく誘導看板等についても今後整備をしていきたいと考えている。

## F 委員

- ・「あつみ農業ビジョン 2025」策定時に様々なデータを調査して目標を設定したが、我々の想定以上に悪い方に進んでいる。
- ・少子高齢化の進行、耕作放棄地の増加、離農の増加を踏まえ、ビジョンを見直す動きがあるので皆さんからもご了知願いたい。
- ・「在来作物の更なるブランド化」に関連し、天候の影響か温海地域の「そば」の作柄が悪い状況であった。対策として土壌改良等が必要ではないかと思っており、農協としても他地域の事例調査を含め今年は力を入れていきたい。
- ・「あつみかぶ」も作柄が悪かったが、森林組合では問題なかったとのこと。温海地域全体の「あつみかぶ」の振興、生産の拡大に繋がるよう森林組合とも連携を取りながら進めたい。
- ・例えば旧山戸小を水耕栽培の施設として活用できないか。冬期間も含め年間通した安定生産という視点もこれからは必要と考えている。新たな農業の仕組み・あり方というものを温海地域の中で、あるいは JA も含めた中で検討できればと思うし、農業だけではなく必ず商工観光に繋がる。地域振興、担い手人材、雇用にも繋がるので皆さんと共に考えていきたい。

## G 委員

- ・地域おこし協力隊の任期と現在の人数を確認したい。
- ・地域の消防団へ加入した例もあるが、協力隊員が任期終了後も地域に残って

くれたらありがたい。

#### 市

- ・現在は福栄地区に 1 名の地域おこし協力隊が配属されている。任期は基本的には 1 年間で更新により最長 3 年間である。
- ・現在配属されている方は平成 30 年 1 月に着任したので、最長で平成 33 年 12 月末までとなる。
- ・市としては消防団加入を強制はできないが、地域の方々を知ったり一緒に作業をしたりと、よい機会にもなると思う。
- ・来年度の予算では、福栄地区の地域おこし協力隊 1 名増員ということで計上しているが、宝谷地区で行った「お試し居住」を参考にしたいと考えており、予算成立が前提となるが、実際の着任は早くても夏以降になると思う。

#### H 委員

- ・あつみ温泉ばら園整備事業の関連で、バラのトンネルが経年劣化で鉄骨が錆びている状況である。そこで、SNS 映えするようなスポットを作ってみてはどうか。例えばハート形のトンネルが考えられるが、様々な写真を SNS で拡散していただくとありがたい。
- ・朝市店舗の家賃をもう少し下げられないかとの要望があるが、様々な対策により朝市に賑わいを取り戻したいものだ。
- ・先程の産地交付金の関連で、地域によって異なる作物を奨励することはできないものか。地域ごと収入増に繋げる工面により、重複しない仕組みができないものかと思う。

#### I 委員

- ・「しゃりん」の農産物の販売について、他の道の駅と比較すると若干ボリュームが不足しているのではないかと感じている。販売取扱高を拡大すれば、その分地域にお金が還流するので、かなりの経済効果が期待できるのではないか。
- ・その場合は、鳥獣被害対策や集荷方法等総合的に考えていく必要があると思う。また、農産物の集荷や出荷に対する支援策を創設すれば、出荷量なども増え経済効果が増すのではないか。

#### 市

- ・「しゃりん」の農産物販売枠が他の道の駅に比べ少ないのは認識している。ただし、「しゃりん」の客層や売れ筋傾向から、地元の買い物客の割合が少ない

ことや野菜等の生ものの販売量が多くなく、漬物などの加工品がメインとなっていることをご了知願いたい。

- ・将来的に鼠ヶ関地域に新「道の駅」が出来れば、現在より客数は増加すると推測され、産直組織を強化し、その準備を今から進めていきたいと考えている。

#### I 委員

- ・高速が開通すれば「しゃりん」の営業形態は変わらざるを得ないはず。地元密着型の品揃えにしていかななくてはならないと思うので、今から準備をしていかないと間に合わないと思う。

#### 市

- ・ご意見として頂戴する。

(会長)

- ・本日いただいた様々なご意見は、計画のローリングにおいて参考にしていきたい。今年度策定した温海地域振興計画（案）と温海地域まちづくり未来事業計画（案）については、この形で進めさせていただきたいと思うが皆様方のご了解をいただけるか。

(異議なし)

以上